

消防団定期観閲式

安全・安心のまちづくり決意新たに

第8回つがる市消防団定期観閲式が6月17日、イオンモールつがる柏の駐車場で行なわれました。観閲式では、消防団員が日頃から行っている防火・防災訓練の成果を観閲者である福島市長らに披露。服装、分列行進、機械器具点検等の審査が行われ、万一の災害に備え、決意を新たにしました。



息の合った分列行進を披露する消防団員



機敏な行動で機械器具点検を受ける



白熱した玉落競技



福島市長による服装点検

現在、つがる市消防団は57分団、消防ポンプ車等83台が配備され、1327人の団員が消火栓や消防ポンプの管理、消火訓練等を行いながら、万一の災害に備えています。

観閲式では団員の視閲点検、消防車両の機械器具点検、分列行進等が行われ、47分団と航空自衛隊車力分屯基地隊員が出場しての玉落競技も開催されました。また、青森山田高等学校吹奏楽部の演奏や、いなほ保育園、木造北保育園の園児らの分列行進が観閲式を盛り上げ、かわ保育園、銀杏ヶ丘保育園の園児による幼年消防クラブが、機械器具点検と放水訓練を堂々と披露し、会場から大きな拍手を浴びていました。

引き続き開催された式典では、殉職消防団員へ黙祷を捧げ、表彰伝達・授与式が行われ、255人の団員が各表彰を受けました。消防庁長官表彰には、前稲垣団長の横山勇一さん、木造副団長の三浦孝純さん、稲垣分団長の笠井隆さん、車力分団長の佐々木豊美さんが表彰されました。観閲式の総合成績は、柏大隊が日頃の訓練の成果を発揮し優勝を果たしました。

- ◆**総合成績**(視閲点検、機械器具点検、分列行進)
 - 優勝 柏大隊(304点)
 - 第2位 稲垣大隊(277点)
 - 第3位 木造第二大隊(269点)
 - 特別賞 航空自衛隊車力分屯基地第21高射隊
- ◆**玉落競技の成績(第1位)**
 - 50馬力以下
 - 木造第11分団(出崎) 31秒25
 - 51~85馬力
 - 木造第20分団第1部(吉見) 30秒41
 - 86馬力以上
 - 森田第1分団(上相野) 24秒64



連携のとれた放水を披露するかしわ保育園児(左)と銀杏ヶ丘保育園児(右)幼年消防クラブ

りんごの「カラマツ」被害状況を福島市長らが視察



「カラマツ」の被害状況を確認する福島市長(右)ら

りんごの開花後に実がならない「カラマツ(不授精花)」被害が市内のりんご園で発生していることを受け、6月15日、福島市長らが柏、森田地区のりんご園地を視察し、被害状況を確認しました。今春は、りんごの開花量は多かったものの、開花期間中の低温、降雨の影響でマメコバチの活動が鈍かったため、ふじの品種を中心に、花が実を結ばずに欠落する「カラマツ」と呼ばれる被害が発生しています。

この日は、県西北地域県民局地域農林水産部、つがるにしきた農協の職員や同農協りんご部会、市りんご共同防除連絡協議会など計40人が参加。柏桑野木田地区の園地でふじを栽培する小関久さんは「50年近くりんごを作ってきたがこんな被害は初めて。今年の収穫だけでなく来年の花芽形成にも悪影響が出る」と話していました。次に訪れた森田町大館の園地では、早生ふじを栽培する七戸竹男さんが「結実果は平年の3分の1くらい」と話すと、同農協果実課の蝦名憲聖さんが「今後の対策としては形質の良い側果を残して適正着果量に努めることが必要」と説明。参加者は枝を手に取り、被害の状況を確認していました。

市では今後、県、農協と連携を図りながら営農指導に努め、今後の状況を見定めていきます。



実がつかない「カラマツ」の発生状況

りんご生産者の皆様へ

7月15日から8月15日は「見直し摘果」強化運動期間

本年は、平年より果実が小さめになっています。果実肥大を促進し、高品質りんごを生産するためには、できるだけ早く適正着果量にすることが重要です。また、ならせすぎは翌年の花芽を悪化させる原因にもなります。

りんごの木をよく観察し、ならせすぎでいたり、サビ果や病害虫の被害果などは、積極的に摘み取り、適正な着果量となるようにしましょう。

【問い合わせ先】 西北地域県民局地域農林水産部
農業普及振興室分室 電話42-2222

「Xバンド」新分遣隊長に ストックトン大尉が就任

ミサイル防衛用早期警戒レーダー「Xバンドレーダー」を管理している米陸軍車力通信所の指揮官交代式が6月19日、航空自衛隊車力分屯基地で行われ、トーマス・ストックトン大尉(32)が就任しました。

ストックトン大尉は、神奈川県にある在日米陸軍司令部からの着任。東日本大震災の直後、陸上自衛隊の米軍渉外官として復興支援にも携わりました。

第4代分遣隊長であったマシュー・イングリス少佐(33)は、カンザス州にある米陸軍の指揮幕僚大学に入校するため帰国する予定です。



米陸軍車力通信所分遣隊長

トーマス・ストックトン大尉

つがる市の皆様こんにちは。つがる市へあたたかく迎え入れて頂き、ありがとうございます。イングリス少佐をはじめ、前任者がこれまで築いた市民の皆様との友好関係をさらに深めていきたいと思っております。

自然豊かな美しい土地。人々の笑顔がとてもあたたかく感じています。これから、さまざまな行事を通して、皆様とお会いできることを楽しみにしています。どうぞよろしくお願いいたします。

マシュー・イングリス少佐

1年間という短い期間でしたが、たくさんのご厚意を頂き、心からお礼申し上げます。このような美しい土地で生活、勤務するという素晴らしい経験ができたことを大変嬉しく思います。

さまざまな行事を通して、地元の方々と交流する機会に恵まれたこの1年間は、私のこれまでの陸軍生活の中でも最も思い出深いものとなりました。つがる市で出会った全ての皆様には心から感謝しています。そして、また皆様に会える日が来ることを祈っています。

